



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月3日

上場会社名 ユニー株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 8270 URL http://www.uny.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前村 哲路
 (役職名)常務取締役 常務執行 (氏名)越田 次郎
 問合せ先責任者 役員 経理財務部担当 (TEL)0587(24)8066
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月4日 配当支払開始予定日 平成23年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年2月21日～平成23年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	537,276	△2.4	23,286	41.3	22,585	46.9	2,203	△31.3
23年2月期第2四半期	550,329	△3.5	16,484	76.2	15,373	85.3	3,209	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	11 15	—
23年2月期第2四半期	16 24	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	953,147	340,492	25.0	1,204 38
23年2月期	940,078	341,140	25.4	1,208 64

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 237,927百万円 23年2月期 238,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	9 00	—	10 00	19 00
24年2月期	—	9 00	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	9 00	18 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注) 23年2月期期末配当金の内訳 普通配当9円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,080,000	△2.9	38,700	10.3	36,700	13.7	4,800	△20.6	24 30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	198,565,821株	23年2月期	198,565,821株
24年2月期2Q	1,014,915株	23年2月期	1,013,868株
24年2月期2Q	197,551,429株	23年2月期2Q	197,553,925株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 決算参考資料	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成23年2月21日～平成23年8月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの着実な復興が進む中、原発事故による電力供給不足や放射能汚染問題、さらには米国及び欧州の信用力低下に伴う円高の長期化などにより、景気の先行きは非常に不透明な状況となっております。

当社グループが属する小売業界におきましても、消費者の低価格・節約志向の継続、同業他社や他業態との競争の激化など、引き続き厳しい状況が続きました。

このような経済状況の中、当社は、前身の1つである西川屋が名古屋の地で創業し、今年で100周年を迎えました。本年を「次の100年にむけた飛躍の年」と位置付け、海外戦略のほかGMS事業の改革を柱に、グループシナジーを発揮させ、ITビジネスに果敢に挑戦し、エコファースト企業の社会的な使命を果たすことによって、ますますの発展を図っております。

その結果、当第2四半期のグループ連結業績は、営業収益5,372億76百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益232億86百万円（前年同期比41.3%増）、経常利益225億85百万円（前年同期比46.9%増）となりました。また、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額84億81百万円、減損損失26億70百万円及び災害による損失24億53百万円等を計上したことにより四半期純利益22億3百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

(セグメント別の業績の動向)

第1四半期から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用したことに伴い、一部の会社の所属セグメントを変更しております。また、前年同期比は前年同期を変更後の区分に組み替えた上で算出しております。

<総合小売業>

総合小売業は営業収益3,941億73百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益84億45百万円（前年同期比138.4%増）となりました。

ユニー(株)においては、今期で創業100周年を迎え、「GMS事業の改革」「店舗開発」「ITビジネス」「海外出店」「既存事業部の活性化」「グループシナジー」「エコ・ファーストの約束」の7つの基本戦略を掲げ、社会貢献と成長戦略、収益力向上を目指しております。「GMS事業の改革」では、昨年来進めてきた「マーチャндаイジング改革」「現場主義」「ローコスト経営」を軸とし、機能性素材を活用した衣料品PBなどの開発商品の拡充による粗利益率の向上、店舗の力を最大限引き出す従業員の意識改革、ムリムダの削減による売場の強化などを推進しております。当第2四半期では、お客様の節電意識の高まりを反映した速乾性や吸湿機能を高めた衣料品、寝具などのPB商品販売や青果・精肉など生鮮品の廃棄ロス削減などを実施しました。

また、100年の長きにわたってご支持、ご支援をいただいているお客様への感謝を込めて、「未来とつながる『ユニー創業100周年』」をテーマに記念商品の販売、記念企画の実施及び社会貢献活動などを実施しております。当第2四半期では、価格もボリュームもうれしいギフト「お買得品50選」を販売し、抽選で「北海道まるごとエンジョイ！プレゼント」が当たるキャンペーンなどを実施しました。

以上の結果、東日本大震災により関東以北の店舗において一時休業や計画停電による営業時間の短縮などの影響があったなか、既設店売上高は当初予想を0.2ポイント上回り、前年同期比0.8%減（衣料1.4%減、住居関連0.7%増、食品1.1%減）となりました。

当セグメントの営業費用は、「マーチャндаイジング改革」による粗利益率の向上及び「ローコスト経営」による広告費や減価償却費の減少などにより、3,857億28百万円（前年同期比3.1%減）となり、営業利益は前年同期に比べて大幅に増加しました。

ユニー(株)の当四半期末店舗数は出店1店舗、閉店3店舗により226店舗となりました。ユニー香港は出店1店舗により3店舗となりました。

<コンビニエンスストア>

コンビニエンスストアは営業収益985億61百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益124億78百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

㈱サークルKサンクスにおいては、東日本大震災発生後、東北地域を中心とした被災地における店舗の通常営業復旧、商品供給体制の再構築とともに同地域の既存店売上高前年比は高い伸び率となりました。また、全国的にも昨年10月の増税値上げによりタバコ売上が増加したほか、ファーストフードや惣菜などのいわゆる「中食」商品や、デザート・カウンターフーズなどの主力オリジナル商品の売上も好調を持続しました。その結果、既設店売上高（単体）は前年同期比4.6%増となりました。

当セグメントの営業費用は、自営店関連経費等の削減により販売費及び一般管理費が減少したことから、860億82百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

当四半期末店舗数は出店173店舗、閉店133店舗により5,555店舗となりました。なお、非連結のエリアフランチャイザーを含む合計店舗数は6,303店舗となりました。

<専門店>

専門店の営業収益は372億63百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益2億76百万円（前年同期比75.2%減）となりました。

㈱さが美においては、3～4月度は震災の影響が大きかった東日本を中心に販売契約高（受注高）が既設店前年比86%に落ち込みましたが、5月以降は回復傾向にあり、第2四半期連結累計期間の販売契約高（受注高）は既設店前年比94%まで回復しました。その結果、営業収益128億9百万円（前年同期比15.2%減）、営業損失4億38百万円（前年同期は営業利益23百万円）となりました。当四半期末店舗数は閉店13店舗により307店舗となりました。

㈱パレモにおいては、「主力事業の収益力強化」を基本として「都心、モール型出店強化」ならびに「新事業の着実な育成、拡大」に取り組みましたが、震災による既存店売上高の減収を新設店で補うことができず、営業収益は142億59百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益は5億45百万円（前年同期比41.4%減）となりました。当四半期末店舗数は出店24店舗、閉店18店舗により582店舗となりました。

㈱鈴丹においては、震災及びその後の計画停電などの影響はありましたが、平成24年2月期の重点戦略である「事業部戦略」「商品戦略」「店舗戦略」などの積極的な取り組みや、猛暑による水着などの好調により、既設店売上高は当初予想を3.6ポイント上回り、前年同期比2.3%減となりました。その結果、営業収益74億60百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益2億68百万円（前年同期比0.9%増）となりました。当四半期末店舗数は出店2店舗、閉店10店舗により233店舗となりました。

<金融>

金融の営業収益は81億95百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益18億49百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

㈱UCSにおいては、包括信用購入あっせんは震災の影響による消費マインドの落ち込みからの回復や、公共料金等の日常決済分野での取扱い好調により堅調に推移しました。しかしながら、融資は総量規制から1年が経過し、取扱高は7月より前年比増加に転じたものの、融資残高の減少は継続しており、厳しい状況が続いております。

当セグメントの営業費用は、適正な与信管理や延滞債権回収の強化による貸倒関連費用の減少などにより63億45百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

なお、従来、金融事業に含まれていた㈱ゼロネットワークスにつきましては、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、コンビニエンスストア事業に事業区分を変更しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第2四半期末における総資産は9,531億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて130億69百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金、有価証券の増加によるものです。

また有利子負債は、前連結会計年度末に比べて152億2百万円減少し、2,941億45百万円となりました。

純資産の当第2四半期末残高は3,404億92百万円となり、この結果、自己資本比率は25.0%、1株当たり純資産は1,204円38銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、本年4月8日公表の平成24年2月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本年9月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

・簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の国内連結子会社において、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

一部の国内連結子会社を除き、定率法を採用している資産について、当連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して算定しております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法で算定しております。繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法で算定しており、前連結会計年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法で算定しております。

④利息返還損失の見積高の算定方法

一部の国内連結子会社において、当第2四半期連結累計期間の利息返還請求の状況が前連結会計年度と著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の返還実績・率等のうち一部を使用して利息返還損失の見積高を算定しております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2億75百万円、経常利益は1億74百万円、税金等調整前四半期純利益は88億13百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は130億86百万円であります。

・表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,353	101,772
受取手形及び売掛金	62,030	57,307
有価証券	15,003	7,027
商品	45,223	45,941
短期貸付金	23,816	28,421
繰延税金資産	5,326	6,165
その他	59,630	57,823
貸倒引当金	△4,478	△4,994
流動資産合計	310,905	299,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	211,144	210,671
工具、器具及び備品(純額)	7,439	7,769
土地	192,997	191,591
リース資産(純額)	23,107	18,904
建設仮勘定	1,873	1,917
その他(純額)	3,522	3,602
有形固定資産合計	440,085	434,456
無形固定資産		
のれん	13,728	12,870
その他	20,892	22,317
無形固定資産合計	34,621	35,188
投資その他の資産		
投資有価証券	16,118	17,347
長期貸付金	1,296	1,352
繰延税金資産	19,942	17,490
差入保証金	113,591	117,938
その他	18,680	19,434
貸倒引当金	△2,095	△2,593
投資その他の資産合計	167,534	170,968
固定資産合計	642,241	640,613
資産合計	953,147	940,078

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,804	109,217
短期借入金	8,296	7,494
1年内返済予定の長期借入金	57,250	49,555
コマーシャル・ペーパー	29,000	26,500
未払金	39,301	36,327
未払法人税等	6,571	6,049
繰延税金負債	—	0
役員賞与引当金	79	189
賞与引当金	4,740	5,797
ポイント引当金	1,626	922
その他	74,171	65,899
流動負債合計	337,842	307,953
固定負債		
長期借入金	185,693	214,404
リース債務	10,921	9,099
繰延税金負債	644	592
再評価に係る繰延税金負債	85	85
退職給付引当金	1,520	1,557
利息返還損失引当金	2,990	3,175
負ののれん	1,624	2,018
長期預り保証金	54,213	55,460
資産除去債務	13,010	—
その他	4,108	4,591
固定負債合計	274,811	290,984
負債合計	612,654	598,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,129	10,129
資本剰余金	58,824	58,824
利益剰余金	170,879	170,654
自己株式	△1,204	△1,203
株主資本合計	238,628	238,404
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,291	2,108
繰延ヘッジ損益	△116	4
土地再評価差額金	△425	△425
為替換算調整勘定	△1,450	△1,322
評価・換算差額等合計	△701	364
少数株主持分	102,565	102,371
純資産合計	340,492	341,140
負債純資産合計	953,147	940,078

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
売上高	466,517	450,964
売上原価	344,398	329,882
売上総利益	122,119	121,081
営業収入		
不動産収入	19,956	20,073
手数料収入	63,855	66,239
営業収入合計	83,811	86,312
営業総利益	205,930	207,394
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,245	490
給料及び手当	53,186	51,748
賞与引当金繰入額	3,437	4,740
退職給付引当金繰入額	2,554	2,506
利息返還損失引当金繰入額	732	711
賃借料	44,231	43,312
減価償却費	15,401	14,904
その他	68,657	65,694
販売費及び一般管理費合計	189,446	184,108
営業利益	16,484	23,286
営業外収益		
受取利息	461	419
受取配当金	259	256
負ののれん償却額	393	394
持分法による投資利益	53	121
受取補償金	197	162
テナント内装工事負担金	82	—
その他	488	479
営業外収益合計	1,935	1,834
営業外費用		
支払利息	2,218	2,002
支払補償費	540	371
その他	288	160
営業外費用合計	3,046	2,535
経常利益	15,373	22,585

ユニ一(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年8月20日)
特別利益		
固定資産売却益	41	114
貸倒引当金戻入額	52	188
受取補償金	12	—
段階取得に係る差益	—	258
その他	0	148
特別利益合計	108	710
特別損失		
固定資産処分損	679	440
減損損失	3,422	2,670
災害による損失	—	2,453
投資有価証券評価損	248	384
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,481
その他	188	491
特別損失合計	4,540	14,921
税金等調整前四半期純利益	10,940	8,374
法人税、住民税及び事業税	5,317	6,132
法人税等調整額	237	△1,115
法人税等合計	5,554	5,016
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,358
少数株主利益	2,177	1,154
四半期純利益	3,209	2,203

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

	総合 小売業 (百万円)	コンビニ エンスス トア (百万円)	専門店 (百万円)	金融 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益及び営業損益								
(1) 外部顧客に 対する営業収益	400,501	95,486	42,468	10,123	1,750	550,329	—	550,329
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1,247	5	—	1,672	7,756	10,681	△10,681	—
計	401,748	95,491	42,468	11,795	9,506	561,011	△10,681	550,329
営業費用	398,205	86,036	41,352	9,731	9,191	544,517	△10,672	533,844
営業利益	3,542	9,455	1,116	2,064	315	16,493	△9	16,484

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分の方法は、グループ内の事業展開を基準として区分しております。

2. 各事業区分の主要な内容

- ・総合小売業……………衣料品、住居関連品、食料品等の小売業
- ・コンビニエンスストア……フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア事業
- ・専門店……………呉服、婦人服等の専門小売業
- ・金融……………クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引、ATM運用業務の受託
- ・その他……………警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等

3. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメントの情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、事業別のセグメントから構成されており、提供する商品、サービス等を考慮した上で集約し、「総合小売業」「コンビニエンスストア」「専門店」「金融」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な内容は以下のとおりであります。

「総合小売業」…衣料品、住居関連品、食料品等の小売業

「コンビニエンスストア」…フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア事業

「専門店」…呉服・婦人服等の専門小売業

「金融」…クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

(単位：百万円)

	総合小売業	コンビニエンスストア	専門店	金融	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	393,031	98,556	37,263	6,638	1,787	537,276	—	537,276
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,142	4	—	1,556	7,770	10,474	△10,474	—
計	394,173	98,561	37,263	8,195	9,557	547,751	△10,474	537,276
セグメント利益	8,445	12,478	276	1,849	254	23,305	△18	23,286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日）

「コンビニエンスストア」セグメントにおいて、土地の時価下落が著しい店舗及び閉店が予定されている店舗、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗について、2,635百万円の減損損失を計上しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 決算参考資料

(1) 連結決算

①連結決算 第2四半期の業績

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異	前期比
営業収益	537,276	550,329	▲13,052	97.6%
営業総利益	207,394	205,930	1,463	100.7%
営業利益	23,286	16,484	6,801	141.3%
経常利益	22,585	15,373	7,212	146.9%
四半期純利益	2,203	3,209	▲1,005	68.7%

※ 少数株主利益 1,154百万円(前期比 1,022百万円減、前年比 53.0%)

※ 連結決算の営業収益は、平成20年2月期中間より5期連続の減収です。

※ 連結決算の営業利益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の増益です。

※ 連結決算の経常利益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の増益です。

※ 連結決算の四半期純利益は、平成22年2月期第2四半期累計以来の2期ぶりの減益です。

※ 連結決算における営業収益の過去最高は、610,601百万円(平成19年2月期中間)。

※ 連結決算における過去最高利益は、営業利益 26,120百万円(平成15年2月期中間)。

経常利益 24,745百万円(平成15年2月期中間)。

四半期純利益 6,387百万円(平成11年2月期中間)。

※ 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用による四半期純利益に与える影響額は、約▲3,700百万円。

②連結子会社の主な増減：無し

③セグメント別の業績

百万円

	営業収益				営業利益			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
総合小売業	394,173	401,748	▲7,574	98.1%	8,445	3,542	4,902	238.4%
コンビニエンスストア	98,561	98,292	269	100.3%	12,478	9,713	2,764	128.5%
専門店	37,263	42,468	▲5,205	87.7%	276	1,116	▲839	24.8%
金融	8,195	8,837	▲642	92.7%	1,849	1,797	52	102.9%
その他	9,557	9,506	51	100.5%	254	315	▲60	80.7%
計	547,751	560,853	▲13,101	97.7%	23,305	16,485	6,819	141.4%
消去または全社	▲10,474	▲10,523	49	—	▲18	▲1	▲17	—
連結計	537,276	550,329	▲13,052	97.6%	23,286	16,484	6,801	141.3%

※ 従来、金融事業に含まれていた(株)ゼロネットワークスにつきましては、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、当期よりコンビニエンスストア事業に事業区分を変更しております。なお、前期についても変更後の区分に組替えをしております。

④セグメント別の主な個別会社の情報

※ 設備投資は、工事ベース・経費除く。特勤者 = 嘱託社員 + パートタイマー(換算) + アルバイト(換算)

○総合小売業(ユニー香港の既存店伸長率は、現地通貨ベース)

百万円

	ユニー				ユニー香港			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
営業収益	386,499	396,541	▲10,042	97.5%	7,838	5,430	2,408	144.3%
直営売上高	367,721	377,848	▲10,127	97.3%	7,810	5,412	2,398	144.3%
営業利益	8,324	3,424	4,900	243.1%	103	96	6	107.0%
経常利益	9,356	4,107	5,248	227.8%	125	131	▲5	95.9%
四半期純利益	2,297	2,140	156	107.3%	117	131	▲13	89.9%
既存店伸長率	99.2%	97.2%	2.0%		101.3%	96.4%	4.9%	
期末店舗数	226店	231店	▲5店	97.8%	3店	1店	2店	300.0%
期中開店店舗数	1店	2店	▲1店		1店	—	1店	
期中閉店店舗数	3店	5店	▲2店		—	—	—	
設備投資額	5,603	8,905	▲3,302	62.9%	412	718	▲306	57.4%

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

期中開店店舗の売場面積	2,000 m ²	10,943 m ²	▲8,943 m ²	18.3%	5,827 m ²	—	5,827 m ²	—
期末売場面積	1,705,740 m ²	1,758,144 m ²	▲52,404 m ²	97.0%	32,735 m ²	16,460 m ²	16,275 m ²	198.9%
期末社員数	5,784人	6,015人	▲231人	96.2%	577人	484人	93人	119.2%
期中平均特勤者数	22,264人	23,053人	▲789人	96.6%	142人	122人	20人	116.4%

※ ユニー香港 期中平均換算レート：当期2Q 1香港ドル＝10.63 円、前期2Q 1香港ドル＝11.46 円

○コンビニエンスストア

百万円

	サークルKサンクス連結			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
営業収益	98,561	98,292	269	100.3%
直営売上高	37,606	40,282	▲2,676	93.4%
営業利益	13,293	10,528	2,764	126.3%
経常利益	13,159	10,366	2,792	126.9%
四半期純利益	3,221	3,975	▲754	81.0%
既存店伸長率	104.6%	95.7%	8.9%	
期末店舗数(①+②+③)	6,303店	6,322店	▲19店	99.7%
①本 体	5,028店	4,990店	38店	100.8%
②エリアFC	1,211店	1,268店	▲57店	95.5%
③99イチバ	64店	64店	—	100.0%
設備投資額	12,001	11,887	123	101.0%
期末社員数	2,075人	2,091人	▲16人	99.2%
期中平均特勤者数	661人	661人	—	100.0%

○専門店

百万円

	さが美連結				パレモ			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
営業収益	12,809	15,107	▲2,297	84.8%	14,259	15,743	▲1,483	90.6%
直営売上高	12,721	15,013	▲2,292	84.7%	14,142	15,598	▲1,456	90.7%
営業利益	▲438	23	▲462	—	545	929	▲384	58.6%
経常利益	▲440	20	▲461	—	564	959	▲394	58.9%
四半期純利益	▲866	▲89	▲777	—	▲114	356	▲471	—
既存店伸長率	92.6%	90.9%	1.7%		89.8%	100.6%	▲10.8%	
期末店舗数	307店	344店	▲37店	89.2%	582店	577店	5店	100.9%
期中開店店舗数	—	1店	▲1店		24店	22店	2店	
期中閉店店舗数	13店	17店	▲4店		18店	18店	—	
設備投資額	24	30	▲6	80.1%	307	355	▲47	86.5%
期中開店店舗の売場面積	—	86 m ²	▲86 m ²	—	3,250 m ²	2,869 m ²	381 m ²	113.3%
期末売場面積	40,209 m ²	46,250 m ²	▲6,041 m ²	86.9%	107,285 m ²	106,972 m ²	313 m ²	100.3%
期末社員数	647人	695人	▲48人	93.1%	145人	153人	▲8人	94.8%
期中平均特勤者数	1,021人	1,237人	▲216人	82.5%	2,233人	2,611人	▲378人	85.5%

	鈴丹連結				モリエ			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
営業収益	7,460	8,158	▲698	91.4%	2,736	3,461	▲724	79.1%
直営売上高	7,460	8,158	▲698	91.4%	2,683	3,387	▲703	79.2%
営業利益	268	266	2	100.9%	▲99	▲103	4	—
経常利益	282	270	12	104.7%	▲101	▲104	3	—
四半期純利益	▲131	188	▲320	—	▲158	▲245	86	—
既存店伸長率	97.7%	94.1%	3.6%		90.8%	89.2%	1.6%	
期末店舗数	233店	254店	▲21店	91.7%	141店	152店	▲11店	92.8%
期中開店店舗数	2店	4店	▲2店		—	—	—	
期中閉店店舗数	10店	34店	▲24店		5店	33店	▲28店	

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

設備投資額	92	160	▲67	57.6%	5	21	▲16	23.6%
期中開店店舗の売場面積	1,471 m ²	1,350 m ²	121 m ²	109.0%	—	—	—	—
期末売場面積	38,009 m ²	39,668 m ²	▲1,658 m ²	95.8%	17,996 m ²	19,833 m ²	▲1,836 m ²	90.7%
期末社員数	146人	163人	▲17人	89.6%	23人	24人	▲1人	95.8%
期中平均特勤者数	1,003人	1,105人	▲102人	90.8%	445人	526人	▲80人	84.7%

○金融

百万円

	U C S			
	当期2Q	前期2Q	前期差異	前期比
営業収益	8,197	8,839	▲641	92.7%
営業利益	1,324	1,244	79	106.4%
経常利益	1,328	1,249	78	106.3%
四半期純利益	761	723	38	105.3%
カード会員数	319.9万人	315.4万人	4.5万人	101.4%

⑤連結決算 有利子負債の内訳

百万円

	平成24年2月期 第2四半期連結	平成23年2月期	期首差異	平成23年2月期 第2四半期連結	前期差異
コマーシャルペーパー	29,000	26,500	2,500	46,000	▲17,000
短期借入金	8,296	7,494	802	10,686	▲2,390
長期借入金	242,944	263,960	▲21,016	268,062	▲25,118
社債	—	—	—	5,000	▲5,000
小計	280,240	297,954	▲17,714	329,748	▲49,508
リース債務	13,905	11,393	2,511	9,869	4,035
合計	294,145	309,347	▲15,202	339,618	▲45,472

⑥連結決算 販管費の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異	前期比
人件費	73,124	72,944	180	100.2%
広告費	11,633	12,435	▲802	93.5%
販売費	7,034	8,823	▲1,788	79.7%
賃借料	43,312	44,231	▲919	97.9%
減価償却費	14,904	15,401	▲496	96.8%
水道光熱費	7,152	7,726	▲573	92.6%
のれん償却	947	857	89	110.4%
その他	25,998	27,026	▲1,027	96.2%
販管費計	184,108	189,446	▲5,337	97.2%

⑦連結決算 営業外収益の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
受取利息	419	461	▲41
受取配当金	256	259	▲2
負ののれん償却額	394	393	1
持分法による投資利益	121	53	68
受取補償金	162	197	▲35
テナント内装工事負担金	—	82	▲82
その他	479	488	▲8
営業外収益計	1,834	1,935	▲100

⑧連結決算 営業外費用の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
支払利息	2,002	2,218	▲ 215
支払補償費	371	540	▲ 168
その他	160	288	▲ 127
営業外費用計	2,535	3,046	▲ 511

⑨連結決算 特別利益の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
固定資産売却益	114	41	72
貸倒引当金戻入額	188	52	135
受取補償金	—	12	▲ 12
段階取得に係る差益	258	—	258
その他	148	0	147
特別利益計	710	108	602

⑩連結決算 特別損失の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
固定資産処分損	440	679	▲ 239
減損損失	2,670	3,422	▲ 752
災害による損失	2,453	—	2,453
投資有価証券評価損	384	248	135
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	8,481	—	8,481
その他	491	188	303
特別損失計	14,921	4,540	10,381

⑪ユニー(株)及び主要子会社の総資産及び借入金

百万円

	総資産	有利子負債 (リース債務含む)	純資産	ユニーから の借入金	ユニー(株) 持株比率
ユニー	574,050	223,632	180,896	—	—
ユニー香港	4,813	—	3,012	—	100.00%
サークルKサンクス(連結)	263,812	13,817	138,167	—	48.65%
さが美(連結)	14,922	1,220	8,472	1,000	55.33%
パレモ	12,681	1,300	5,843	—	63.40%
鈴丹(連結)	6,925	3,400	439	800	60.32%
モリエ	1,102	1,681	▲ 1,490	1,640	100.00%
UCS	109,105	56,009	17,146	—	80.91%

※ ユニー(株)持株比率は間接所有も含む

※ 子会社・関連会社への保証債務：(株)UCS 3,228百万円、(株)ユーライフ 3,167百万円

(2) 連結決算通期 (平成24年2月期) の業績予想

①連結決算通期の業績予想

百万円

	平成24年2月期	平成23年2月期	前期差異	前期比
営業収益	1,080,000	1,112,781	▲32,781	97.1%
営業利益	38,700	35,101	3,598	110.3%
経常利益	36,700	32,282	4,417	113.7%
当期純利益	4,800	6,046	▲1,246	79.4%

※ 少数株主利益 2,295百万円 (前期比 1,378百万円減、前年比 62.5%)

②セグメント別の業績予想

百万円

	営業収益				営業利益			
	当期	前期	前期差異	前期比	当期	前期	前期差異	前期比
総合小売業	803,830	824,453	▲20,623	97.5%	16,700	13,079	3,620	127.7%
コンビニエンスストア	188,320	192,304	▲3,984	97.9%	17,040	16,942	97	100.6%
専門店	74,180	81,378	▲7,198	91.2%	1,370	1,548	▲178	88.5%
金融	16,100	17,238	▲1,138	93.4%	3,100	2,914	185	106.4%
その他	19,110	19,166	▲56	99.7%	530	612	▲82	86.6%
計	1,101,540	1,134,541	▲33,001	97.1%	38,740	35,097	3,642	110.4%
消去または全社	▲21,540	▲21,759	219	—	▲40	4	▲44	—
連結計	1,080,000	1,112,781	▲32,781	97.1%	38,700	35,101	3,598	110.3%

※ 従来、金融事業に含まれていた(株)ゼロネットワークスにつきましては、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用に伴い、当期よりコンビニエンスストア事業に事業区分を変更しております。なお、前期についても変更後の区分に組替えをしております。

③ユニー(株)及び主要連結子会社の業績予想

○総合小売業

百万円

	ユニー				ユニー香港			
	当期	前期	前期差異	前期比	当期	前期	前期差異	前期比
営業収益	789,200	812,999	▲23,799	97.1%	15,118	11,944	3,173	126.6%
営業利益	16,600	13,031	3,568	127.4%	▲21	4	▲25	—
経常利益	18,000	14,020	3,979	128.4%	12	66	▲53	19.2%
当期純利益	4,200	4,507	▲307	93.2%	10	25	▲14	42.1%
既存店伸長率	98.6%	99.1%	▲0.5%		101.2%	98.4%	2.8%	
期末店舗数	227店	229店	▲2店	99.1%	3店	2店	1店	150.0%
期中開店店舗数	3店	3店	—		1店	1店	—	
期中閉店店舗数	4店	8店	▲4店		—	—	—	
設備投資額	16,915	18,792	▲1,877	90.0%	413	854	▲441	48.4%
期中開店店舗の売場面積	11,786㎡	13,033㎡	▲1,247㎡	90.4%	5,827㎡	10,448㎡	▲4,621㎡	55.8%
期末売場面積	1,713,656㎡	1,749,885㎡	▲36,229㎡	97.9%	32,735㎡	26,908㎡	5,827㎡	121.7%
期末社員数	5,696人	5,903人	▲207人	96.5%	624人	558人	66人	111.8%
期中平均特勤者数	22,406人	23,097人	▲691人	97.0%	123人	123人	—	100.0%

※ユニー香港 期中平均換算レート：当期1香港ドル＝10.63円、前期1香港ドル＝11.03円

○コンビニエンスストア

百万円

	サークルKサンクス連結			
	当期	前期	前期差異	前期比
営業収益	188,320	192,304	▲3,984	97.9%
営業利益	18,700	18,571	128	100.7%
経常利益	18,000	17,477	522	103.0%
当期純利益	5,500	7,165	▲1,665	76.8%
既存店伸長率	101.3%	98.6%	2.7%	

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

期末店舗数 ①+②+③	6,336店	6,335店	1店	100.0%
①本 体	5,056店	5,001店	55店	101.1%
②エリアFC	1,217店	1,273店	▲56店	95.6%
③99イチバ	63店	61店	2店	103.3%
設備投資額	25,060	22,073	2,986	113.5%
期末社員数	2,055人	2,019人	36人	101.8%
期中平均特勤者数	665人	643人	21人	103.3%

○専門店

百万円

	さが美連結				パレモ			
	当期	前期	前期差異	前期比	当期	前期	前期差異	前期比
営業収益	26,000	29,672	▲3,672	87.6%	28,300	29,902	▲1,602	94.6%
営業利益	▲160	155	▲315	—	960	1,168	▲208	82.1%
経常利益	▲170	146	▲316	—	970	1,212	▲242	80.0%
当期純利益	▲780	▲25	▲754	—	0	288	▲288	—
既存店伸長率	95.0%	92.0%	3.0%		93.2%	98.9%	▲5.7%	
期末店舗数	306店	320店	▲14店	95.6%	596店	576店	20店	103.5%
期中開店店舗数	3店	6店	▲3店		40店	38店	2店	
期中閉店店舗数	17店	46店	▲29店		20店	35店	▲15店	
設備投資額	192	122	70	157.4%	800	670	130	119.4%
期中開店店舗の売場面積	251㎡	702㎡	▲451㎡	35.7%	5,947㎡	5,314㎡	633㎡	111.9%
期末売場面積	39,493㎡	41,913㎡	▲2,419㎡	94.2%	109,666㎡	107,112㎡	2,553㎡	102.4%
期末社員数	627人	666人	▲39人	94.1%	145人	146人	▲1人	99.3%
期中平均特勤者数	1,016人	1,229人	▲213人	82.7%	2,275人	2,230人	45人	102.0%

	鈴丹連結				モリエ			
	当期	前期	前期差異	前期比	当期	前期	前期差異	前期比
営業収益	14,220	15,152	▲932	93.8%	5,664	6,656	▲992	85.1%
営業利益	580	349	230	166.1%	▲15	▲124	109	—
経常利益	590	355	234	166.0%	▲20	▲126	106	—
当期純利益	6	92	▲86	6.5%	▲99	▲336	237	—
既存店伸長率	97.1%	96.7%	0.4%		93.5%	89.0%	4.5%	
期末店舗数	231店	241店	▲10店	95.9%	136店	146店	▲10店	93.2%
期中開店店舗数	5店	5店	—		1店	1店	—	
期中閉店店舗数	15店	48店	▲33店		11店	40店	▲29店	
設備投資額	173	187	▲14	92.4%	11	8	2	128.1%
期中開店店舗の売場面積	2,067㎡	1,548㎡	518㎡	133.5%	105㎡	91㎡	13㎡	115.1%
期末売場面積	37,822㎡	38,410㎡	▲588㎡	98.5%	17,584㎡	18,974㎡	▲1,389㎡	92.7%
期末社員数	143人	144人	▲1人	99.3%	18人	22人	▲4人	81.8%
期中平均特勤者数	1,002人	1,076人	▲74人	93.1%	428人	499人	▲70人	85.8%

○金融

百万円

	U C S			
	当期	前期	前期差異	前期比
営業収益	16,100	17,240	▲1,140	93.4%
営業利益	2,000	1,829	170	109.3%
経常利益	2,000	1,834	165	109.0%
当期純利益	1,150	1,018	131	112.9%
カード会員数	325.0万人	318.3万人	6.7万人	102.1%

④連結ベースの設備投資及び減価償却費

億円

	平成24年2月期 第2四半期連結累計	平成24年2月期予想
設備投資	197	455
減価償却費	149	320

※ 設備投資は工事ベース・経費除く

(3) 個別決算

①第2四半期の業績

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異	前期比
営業収益	386,499	396,541	▲10,042	97.5%
直営売上高	367,721	377,848	▲10,127	97.3%
営業総利益	109,204	107,124	2,079	101.9%
営業利益	8,324	3,424	4,900	243.1%
経常利益	9,356	4,107	5,248	227.8%
四半期純利益	2,297	2,140	156	107.3%

- ※ 営業収益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の減収です。
 ※ 営業利益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の増益で、「**中間期の過去最高益**」です。
 ※ 経常利益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の増益で、「**中間期の過去最高益**」です。
 ※ 四半期純利益は、平成23年2月期第2四半期累計より2期連続の増益です。
 ※ 個別決算における営業収益の過去最高は、407,579百万円(平成22年2月期第2四半期累計)です。
 ※ 個別決算における過去最高利益は、営業利益 8,207百万円(平成元年2月期中間)、
 経常利益 8,476百万円(平成3年2月期中間)、
 四半期純利益 4,623百万円(平成3年2月期中間)。
 ※ 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用による四半期純利益に与える影響額は、約▲2,150百万円。

②上半期の新設店舗及び閉店店舗

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期上半期
新設店舗	ユーホーム桶狭間店(業態変更)	名古屋市緑区	2,066 m ² (2,000 m ²)	H23. 8. 3	ピオニウォーク東松山 (アピタ東松山店) ピアゴラ フーズコア中田店
テナント 増床店舗	アピタ福井大和田店 (ユーホーム福井大和田店を テナントに置換)	福井県福井市	45,944 m ² (13,765 m ²)	H23. 6. 23	
閉店店舗	ピアゴ今池店	名古屋市千種区	10,290 m ² (7,719 m ²)	H23. 5. 8	アピタ武生店 ピアゴ可児店
	アピタ佐原東店	茨城県稲敷市	13,157 m ² (10,522 m ²)	H23. 8. 16	ピアゴ前後駅前店 アピタ豊川店
	ピアゴ西尾駅東店	愛知県西尾市	6,948 m ² (5,742 m ²)	H23. 8. 16	ユニー吉原店

- ※ 第2四半期期末店舗数は、前期同期末に比べ5店舗減の226店舗です。
 ※ ピアゴ今池店・アピタ佐原東店・ピアゴ西尾駅東店は、建替を予定した閉店です。

③設備投資額(工事ベース)

億円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
先行投資	0	—	0
新增設店	10	65	▲55
既存店活性化投資等	46	24	22
合計	56	89	▲33

※ 支払ベースでは62億円(前期は96億円)。

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

④有利子負債の内訳

百万円

	平成24年2月期 第2四半期	平成23年2月期	期首差異	平成23年2月期 第2四半期	前期差異
コマーシャルペーパー	29,000	26,500	2,500	46,000	▲17,000
短期借入金	7,406	2,264	5,142	2,196	5,210
長期借入金	187,226	207,692	▲20,466	210,105	▲22,878
社債	—	—	—	5,000	▲5,000
合計	223,632	236,456	▲12,824	263,301	▲39,668

⑤財政状況

百万円

	平成24年2月期 第2四半期	平成23年2月期 第2四半期	前期差異
総資産	574,050	587,405	▲13,355
純資産	180,896	180,216	680
自己資本比率	31.5%	30.7%	0.8%

⑥配当金

- ・中間配当金は、普通配当9円とさせていただきます。

⑦売上伸長率

%

		平成24年2月期 第2四半期累計									前期 上半期
		3月	4月	5月	第1Q	6月	7月	8月	第2Q	上半期	
衣料品	既設店	89.7	101.2	98.1	96.7	100.7	106.5	93.4	100.5	98.6	95.0
	全店	87.3	95.8	95.8	93.4	96.5	102.6	93.5	97.7	95.6	95.2
住関連品	既設店	104.7	100.6	97.6	100.8	99.5	105.0	96.8	100.6	100.7	97.0
	全店	101.8	95.8	95.5	97.5	96.8	102.0	97.9	99.0	98.3	97.3
食品	既設店	102.5	99.2	98.1	99.9	98.0	100.3	95.7	97.9	98.9	97.7
	全店	100.9	96.3	96.9	98.0	95.7	98.2	97.6	97.1	97.6	97.5
直営	既設店	101.0	99.7	98.1	99.6	98.7	102.2	95.6	98.8	99.2	97.2
	全店	99.1	96.1	96.5	97.2	96.0	99.6	97.1	97.6	97.4	97.2

※ 既設店の売上伸長率は、曜日調整をしております。全店の売上伸長率は、曜日調整をしておりません。

※ 前年割れ店舗(既設店ベース) 127店/215店

<タイプ別既設店伸長率>

- ・アピタタイプ 99.0% (前期上半期 97.3%)
- ・ピアゴタイプ 99.2% (前期上半期 97.2%)
- ・ユーホームタイプ 102.9% (前期上半期 94.1%)

⑧客数・客単価の状況(既設店)

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
買い上げ客数	98.5%	98.7%	▲0.2%
客単価	101.1%	98.4%	2.7%

⑨荒利率

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
衣料品	37.4%	36.6%	0.8%
住関連品	28.3%	27.0%	1.3%
食品	20.8%	19.5%	1.3%
直営	24.6%	23.4%	1.2%

⑩商品回転日数 (期中平均在庫売価)

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
衣 料 品	77.6日	73.2日	4.4日
住 関 品	80.9日	80.3日	0.6日
食 品	5.4日	5.5日	▲ 0.1日
直 営	29.1日	28.5日	0.6日

※ 商品回転日数は、各月平均在庫売価で算出。

⑪ロス率

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
衣 料 品	18.1%	18.5%	▲ 0.4%
住 関 品	5.8%	6.2%	▲ 0.4%
食 品	1.1%	1.2%	▲ 0.1%
直 営	4.5%	4.8%	▲ 0.3%

⑫販管費の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異	前 期 比
人 件 費	49,777	49,056	721	101.5%
広 告 費	6,052	6,725	▲ 673	90.0%
内 装 費	226	365	▲ 139	62.0%
賃 借 料	12,664	13,155	▲ 491	96.3%
減 価 償 却 費	7,570	8,699	▲ 1,129	87.0%
水 道 光 熱 費	5,846	6,185	▲ 338	94.5%
そ の 他	18,742	19,512	▲ 769	96.1%
販 管 費 計	100,880	103,700	▲ 2,820	97.3%

⑬営業外損益の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
受 取 利 息	232	225	7
受 取 配 当 金	1,480	1,452	28
支 払 利 息	▲ 1,282	▲ 1,505	222
金 融 収 支	430	171	258
貸倒引当金繰入額	▲ 48	▲ 159	111
負ののれん償却額	391	391	—
そ の 他	257	278	▲ 20
営業外損益計	1,031	682	348

⑭特別利益の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
固定資産売却益	32	9	23
貸倒引当金戻入益	60	—	60
特 別 利 益 計	93	9	83

⑮特別損失の主な項目

百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
固定資産処分損	355	458	▲103
減損損失	1	386	▲384
投資有価証券評価損	317	244	72
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	3,463	—	3,463
災害による損失	1,504	—	1,504
その他	410	1	409
特別損失計	6,052	1,090	4,962

(4) 個別決算通期(平成24年2月期)の業績予想

①個別決算通期の業績予想

百万円

	平成24年2月期	平成23年2月期	前期差異	前期比
営業収益	789,200	812,999	▲23,799	97.1%
営業総利益	222,670	222,755	▲85	100.0%
営業利益	16,600	13,031	3,568	127.4%
経常利益	18,000	14,020	3,979	128.4%
当期純利益	4,200	4,507	▲307	93.2%

※ 下半期の既設店伸長率は98.0%(前期下半期は100.9%)を見込んでいます。

※ 通期の既設店伸長率は、98.6%(前期は99.1%)を見込んでいます。

※ 下半期の荒利率は24.6%(前期下半期は24.3%)を見込んでいます。

※ 通期の荒利率は24.6%(前期は23.9%)を見込んでいます。

※ 期末の従業員数予想 32,000人

②平成24年2月期(41期)業績予想の主な項目

百万円

	平成24年2月期予想	平成23年2月期実績	前期比
既設店伸長率	98.6%	99.1%	▲0.5%
営業収益	789,200	812,999	97.1%
直営売上高	751,350	775,158	96.9%
荒利率(%)	24.6%	23.9%	0.7%
営業総利益	222,670	222,755	100.0%
人件費	99,670	99,742	99.9%
広告費	12,740	13,634	93.4%
内装費	690	659	104.6%
賃借料	25,560	26,407	96.8%
減価償却費	16,330	17,653	92.5%
水道光熱費	11,950	12,392	96.4%
その他	39,130	39,233	99.7%
営業費計	206,070	209,724	98.3%
営業利益	16,600	13,031	127.4%
金融収支	350	▲16	—
その他	1,050	1,005	104.5%
経常利益	18,000	14,020	128.4%
特別利益	100	56	176.3%
特別損失	10,100	6,936	145.6%
税前利益	8,000	7,140	112.0%
当期純利益	4,200	4,507	93.2%

③下半期 開閉店予定店舗

	店 名	所 在 地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期下半期
新 設 店 舗	ピアゴ蟹江店 (建替)	愛知県海部郡	3,398 m ² (2,007 m ²)	H23. 9. 23	ヒルズウォーク徳重 (ピアゴ ラ フーズコア徳重店)
	アピタ富士吉原店 (建替)	静岡県富士市	12,598 m ² (7,779 m ²)	H23. 10. 8	
テナント 増床店舗	ピアゴ植田店	名古屋市天白区	7,623 m ² (4,624 m ²)	H23. 10. 21	
閉 店 店 舗	ピアゴ乙川店	愛知県半田市	10,119 m ² (6,494 m ²)	H23. 8. 23	ピアゴ桶狭間店 ピアゴ騎西店 ピアゴ蟹江店 ユーホーム福井大和田店

※ 平成24年2月期期末店舗数は、前期末に比べ1店舗減の228店舗の予定です。

④設備投資計画 (工事ベース)

億円

	平成24年2月期予想	平成23年2月期実績	前期差異
先 行 投 資	50	6	44
新 増 設 店	34	99	▲ 65
既存店活性化投資等	85	83	2
計	169	188	▲ 19

※ 支払ベースでは 174億円 (前期は 177億円)。

⑤資金計画の概要

億円

			平成24年 2月期予想	平成23年 2月期実績
支払ベース設備投資	1		174	177
	2		4	—
	3	1+2	178	177
当 期 純 利 益	4		42	45
	5		▲ 38	▲ 36
	6		163	177
	7		▲ 9	▲ 8
	8		101	70
	9		2	22
	10		▲ 8	▲ 8
	11	4+5+6+7+8+9+10	253	262
預り保証金	12		▲ 16	▲ 12
長期借入金	13		▲ 268	▲ 44
社 債	14		—	▲ 150
差入保証金戻り等	15		45	60
合 計	16	11+12+13+14+15	14	116
過 不 足	17	16-3	▲ 164	▲ 61

(5) 平成25年2月期について

①開閉店予定店舗 (平成23年10月現在)

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	総投資
新設店舗	アピタ佐原東店(建替)	茨城県稲敷市	10,909 m ² (8,265 m ²)	H24年度下期	19.0億円
	ピアゴラフーズコア 今池店(建替)	名古屋市千種区	2,479 m ² (1,289 m ²)	H24年度下期	4.8億円
テナント増床店舗	けやきウォーク前橋 (アピタ前橋店)	群馬県前橋市	56,909 m ² (13,205 m ²)	H24年度上期	6.3億円
	アピタ本店	埼玉県本庄市	12,238 m ² (7,617 m ²)	H24年度下期	3.7億円
閉店店舗	ピアゴ浜松泉町店	浜松市中区	5,587 m ² (4,952 m ²)	H24年度上期	

※ ピアゴ浜松泉町店は、建替を予定した閉店です。

②資金計画の概要

億円

			平成25年2月期計画
支払ベース設備投資	1		151
内部留保	2		243
預り保証金	3		▲11
長期借入金	4		▲189
社債	5		—
差入保証金戻り等	6		41
合計	7	1+2+3+4+5+6	84
過不足	8	7-1	▲67

(6) その他参考資料

①期末店舗数及び売場面積

	平成24年2月期 第2四半期	平成23年2月期 第2四半期	前期差異	前期比
店舗数	226店	231店	▲5店	—
店舗面積	1,705,740m ²	1,758,144m ²	▲52,404m ²	97.0%

②期末従業員数

	人 数	構成比		平均年齢		平均勤続年数			
		当期	前期	当期	前期	当期	前期		
社員	男子	4,639	4,823	14.2%	14.2%	42.6	42.1	19.8	19.3
	女子	1,145	1,192	3.5%	3.5%	39.7	38.7	18.5	17.5
	計	5,784	6,015	17.7%	17.8%	42.0	41.4	19.5	18.9
特勤者		26,943	27,852	82.3%	82.2%				
合計		32,727	33,867	100.0%	100.0%				

※ 特勤者は、嘱託社員+パートナー社員+パートタイマー+キャリア社員の実人員。(アルバイトは除く)

ユニー(株)(8270) 平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

③売場面積当り売上高・一人当り売上高の状況 (期末売場面積・期末従業員数基準) 千円

		平成24年2月期 第2四半期累計	平成23年2月期 第2四半期累計	前期差異
売場面積1㎡当り売上高		216	215	1
一人当り売上高	社員	63,576	62,818	758
	特勤者含む	11,236	11,157	79

④地域別店舗数及び売上高 百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計			平成23年2月期 第2四半期累計			前期比	既設 前年比
	店舗数	売上高	構成比	店舗数	売上高	構成比		
関東エリア	33	63,827	17.4%	35	64,418	17.1%	99.1%	101.1%
山静エリア	26	36,922	10.0%	26	38,890	10.3%	94.9%	98.1%
中京エリア	151	244,408	66.5%	153	250,708	66.4%	97.5%	98.8%
北陸エリア	16	22,358	6.1%	17	23,571	6.2%	94.9%	98.5%
※ 合計	226	367,721	100.0%	231	377,848	100.0%	97.3%	99.2%

※ 合計には、本社他の売上高が含まれています。

⑤タイプ別店舗数及び売上高 百万円

	平成24年2月期 第2四半期累計			平成23年2月期 第2四半期累計			前期比	既設 前年比
	店舗数	売上高	構成比	店舗数	売上高	構成比		
アピタ	95	236,378	64.5%	96	242,971	64.5%	97.3%	99.0%
ピアゴ	122	124,491	34.0%	126	127,562	33.9%	97.6%	99.2%
ユーホーム	9	5,757	1.5%	9	5,965	1.6%	96.5%	102.9%
合計	226	366,627	100.0%	231	376,499	100.0%	97.4%	99.2%

⑥商品別売上高 百万円

		平成24年2月期 第2四半期累計		平成23年2月期 第2四半期累計		前年 同期 対比	平成23年2月期	
		売上高	構成比	売上高	構成比		売上高	構成比
商 品 別 売 上 高	婦人衣料	15,887	4.3%	16,734	4.4%	94.9%	32,751	4.2%
	子供衣料	7,753	2.1%	8,224	2.2%	94.3%	16,550	2.1%
	紳士衣料	9,427	2.6%	9,685	2.6%	97.3%	20,378	2.6%
	洋品雑貨	9,538	2.6%	10,125	2.7%	94.2%	19,409	2.5%
	肌着類	13,993	3.8%	14,445	3.8%	96.9%	30,490	3.9%
	衣料品小計	56,600	15.4%	59,215	15.7%	95.6%	119,581	15.4%
	住居関連品	11,654	3.2%	13,316	3.5%	87.5%	28,669	3.7%
	日用雑貨	48,476	13.2%	47,811	12.7%	101.4%	100,559	13.0%
	住関連品小計	60,130	16.4%	61,127	16.2%	98.4%	129,228	16.7%
	生鮮食品	142,749	38.8%	146,754	38.8%	97.3%	302,602	39.0%
	加工食品	102,309	27.8%	104,438	27.6%	98.0%	211,032	27.2%
	食料品小計	245,059	66.6%	251,193	66.4%	97.6%	513,634	66.2%
	商品供給高	179	0.1%	221	0.1%	80.8%	487	0.1%
その他	5,751	1.6%	6,091	1.6%	94.4%	12,226	1.6%	
合計	367,721	100.0%	377,848	100.0%	97.3%	775,158	100.0%	